

教育目標「考える子 思いやりのある子 たくましい子」



せんだんの木



伊勢崎市立茂呂小学校 学校だより No. 2 令和6年5月1日

校庭の木々の緑がまぶしい季節となりました。入学した1年生も学校に慣れ、毎朝「おはようございます」という元気のよい挨拶が聞こえてきます。先日の「一年生迎える会」では上級生からいろいろなプレゼントをもらい、とても嬉しそうなお表情が見られました。

2年生以上の子供たちも新しい仲間と学級目標を決め、係・当番活動にはりきって取り組んでいる様子が見られます。この時期の学級づくりは大変重要です。子供たち一人一人が「友達が好き・先生が好き・クラスが好き」と言えるようになってほしいと思います。

今月は学習参観でお子さんの学校での様子をご覧いただき、二者面談で有意義な話し合いにつなげていきたいと思ひます。

【全国学力・学習状況調査 ～国・算・質問紙～】

4月18日(木)、6年生を対象に2教科、そして25日(木)に質問紙調査が行われました。子供たちにとっては、自分自身の学習状況を知り、今後に生かすということの他に、

- 真剣に問題を解く貴重な機会
- 最善を尽くす、よい学習の場
- 最後まであきらめずにやり遂げたという自信をつける場

であったと思ひます。

日頃から、「最後まであきらめず、やりとげること」、授業中「自分の考えをしっかりと(書く)こと」、「仲間と考えを出し合い、比較したり、関連付けたりしながら自分の言葉(文章)でまとめること」を積み重ねていくことが大切です。

また、学校(教職員)にとっては、出題された問題から「子供たちに求められる学力」を確認したり、学習を支える生活・学習習慣、学び方等の実態把握、日々の自らの教育活動(指導の在り方)等を振り返ったりするよい機会です。今後の指導に役立てていきたいと思ひます。

結果は7月末に公表予定ですので、学校の結果と対応は9月号(予定)でお知らせします。

問題は、文章の読解力(情報のインプット)と文章表現力(情報のアウトプット)を問うものになっています。単なる計算問題、漢字の読み書きではなく、算数では「問題場面を式に表す力(思考・判断力)」が、国語では「問題に対する自分自身の考えを条件に合わせて書く力」が求められます。つまり、自分の考えを条件に合わせて書いたり、文や図等で説明する力が問われていると言えます。

日頃から、50～100字程度で自分の考えを書いたり、内容を簡潔にまとめたりする習慣をつけていくことが重要です。また様々な場面で「これはつまり、こういうことだな」「例えるとしたら～だな」という訓練も効果的です。

ご家庭でも新聞やニュース等をきっかけに、身の回りの出来事や社会への関心を高め、知識や語彙を増やしたり、学校での出来事をたくさん聞いてあげたりしてください。

三 原さんは、鳥さんと話し合ったあと、「物語」を読んで、心に残ったところとその理由をまとめています。あなたなら、「物語」を読んだ、心に残ったところとその理由をどのようにまとめてみますか。次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- 心に残ったところと、心に残った理由を書くこと。
- 「物語」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

※「茂呂小ブログ」で様々な教育活動等、学校の様子を写真で紹介しています

<http://isesaki-morosyou.blogspot.com/>

【体力向上に向けて】

知・徳・体の調和、バランスが大事です。今年も様々な体育活動を通して、「仲間とかかわり合いながら、進んで体を動かそうとする児童の育成」を目指します。

○現 状

- ・継続している「外で遊ぼうDay」の取組によって、普段から外で遊ぶ子供は多いです。
- ・一昨年度からの取組を学校全体で継続したことにより、コロナ禍で低下した体力が向上しつつあります。
- ・全国体力・運動能力調査では男女とも体力合計点で全国を上回る一方、男子はソフトボール投げのような投力、女子は20mシャトルランのような持久力に課題があります。
- ・「体を動かすことが好き」「スポーツは大切」というような運動に対する意識は高い状況にあります。また、休み時間や放課後に外遊びをしている子供は約8割という状況です。

○対 策（具体的な取組）

・体育の授業では

運動のコツや上達するための練習方法を提示したり、子供たちから引き出させたりして、子供同士で教え合ったり、励まし合ったり、ほめ合ったりしてかかわりをもたせます。その結果として運動ができるようになったり、楽しさを実感できるようにします。

(写真下：4年生の体育の様子)



・授業以外では

毎週木曜日を「外で遊ぼうDay」として、休み時間は皆で外で遊ぶようにします。

○○強化月間を設けます（5月：投力、11月：持久走、12、1月：なわとび、2、3月：長縄）
茂呂小オリンピックの実施（運動会の団別で組織して、各運動種目でポイント競います）

・家庭との連携

運動がんばりカードの記録を継続します。（新体力テスト、泳力、持久走、なわとび）

家庭で運動に取り組むきっかけとしたり、子供は自分自身の成長の確認や課題把握に活用したりします。

【思いやりのある子に ～いじめ防止活動～】

11年前（平成25年）からオール群馬で始まった児童生徒主体の「いじめ防止活動」。

5月は「いじめ防止強化月間」です。「いじめ防止宣言」の3つのキーワード「勇気」「思いやり」「協力」を大切にして、本校でもあいさつ運動や「ありがとうの魚」「わくわく集会」「児童集会」など、子供たち自身による「いじめ防止活動」を展開していきます。

今年の県いじめ防止ポスターに示されているメッセージは、「気づいてあげよう ほんとの気持ち」です。子供一人一人に「いじめはしない、許さない」という気持ちをご家庭と協力して育てていきたいと思えます。

参考までに、過去数年のメッセージを紹介します。

「次は あなたが 救う番」(R5年度)

「私に聞かせて 心に隠す 君の声」(R4年度)

「悪口を見ざる 言わざる 聞かざる 打たざる」(R3年度)

「あと一言の勇気を 今」(R2年度)



毎年「群馬県いじめ防止ポスターコンクール」が開催されています。ご家庭でも、いじめについて日頃考えていることをポスターに表現して応募してみることも価値あることだと思います。夏休みの課題一覧にありますので参考にしてください。

※「茂呂小ブログ」で様々な教育活動等、学校の様子を写真で紹介しています

<http://isesaki-morosyou.blogspot.com/>